

2024年度 エコアクション 21

環境ネットやまがた

環境経営レポート



環境省
エコアクション21

活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日

(発行日：2025年6月9日)

(改定日：2025年10月28日)

認証番号 0006704



山形エコハウス

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田三丁目2-37

TEL:023-679-3340 FAX:023-679-3389 URL: <http://eny.jp/>



特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

環境経営方針

本法人の目的である「かけがえのない地球環境と山形の豊かな自然を守り、共存し、調和するため、社会を構成する人々及び団体が、環境を守る役割と活動の意義を理解し深め、自主的な取り組みを促進し、また、持続的発展が可能な社会の実現に寄与する」を具現化するため、エコアクション2.1 環境経営システムを構築運用するとともに、下記のような取り組みを推進していくことを誓約いたします。

- 1 地球温暖化防止のため、自ら排出する二酸化炭素の削減に取り組みます。
- 2 資源の有効利用のため、自ら排出する廃棄物の削減に取り組みます。
- 3 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。
- 4 山形県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動を推進します。
- 5 エコアクション2.1 地域事務局として、エコアクション2.1 認証登録制度の普及を推進します。
- 6 子どもたちの科学への興味と環境マインドを育む活動を推進します。
- 7 グリーン購入に努めるとともに、地域の3R活動を推進します。
- 8 地域の環境保全活動団体と連携し、森林整備活動や水資源を守る活動を支援していきます。
- 9 地域の環境整備活動に積極的に参加、貢献します。
- 10 環境関連法規等を遵守します。
- 11 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

2010年11月1日制定

2019年10月1日改訂

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた
代表 河合直樹

2.組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

- 特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合 直樹

2-2. 事業の概要

- 地球温暖化防止活動の推進（山形県地球温暖化防止活動推進センター）
- エコアクション21の認証登録及び普及推進（中核地域事務局）
- 山形県環境保全協議会事務局
- やまがた環境カウンセラー協議会
- 山形県環境科学研究センター情報棟委託管理業務、山形県産業科学館指定管理業務



2-3. 所在地と連絡先（担当者）

- 住 所：〒990-2421 山形県山形市上桜田三丁目2-37
連絡先：TEL023-679-3340 FAX023-679-3389
Email：eny@chive.ocn.ne.jp URL：http://eny.jp/
- 担当者：環境管理責任者 大場 健一
環境管理担当者 長岡 修一

2-4. 事業の規模

- 設 立：2004年3月
- 収入額と職員数（事業年度：4月1日～3月31日）

	2024年度
収入額（千円）	135,688
職員数（人）	19
会員数※	85

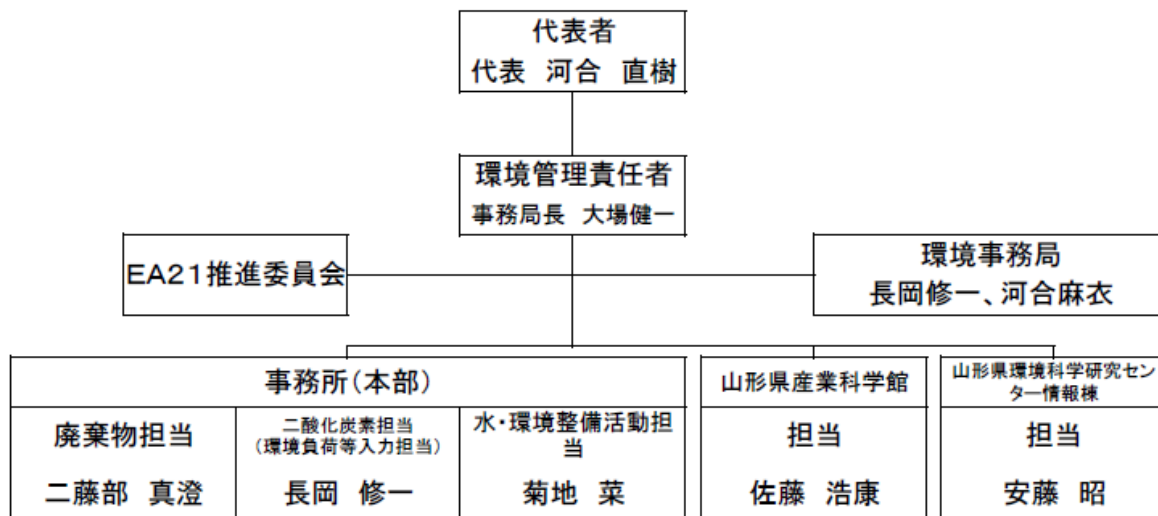
- ※ 会員数は、各年度の総会時の正会員とパートナー会員、賛助会員の合計数である。
- 事務所の延床面積：208.15㎡（63.07坪）2階建て
- 従業員数は4月1日現在の人数とする。
（本部6人、山形県環境科学研修センター情報棟2人、山形県産業科学館11人）



「エコベンファミリー」

山形県地球温暖化防止活動推進センターのキャラクターです

2-5. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者(代表)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの実施に必要な人、もの、金を準備 ・実施体制の構築及び周知徹底 ・環境経営方針の策定 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制等の周知 ・環境関連法規等の取りまとめ表を作成 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認・承認 ・環境上の緊急事態の想定と準備 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認・承認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・教育訓練の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・文書・記録・手順書等の作成、管理 ・環境上の緊急事態の想定に基づく訓練の実施 ・環境活動の実績集計 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の確認・評価 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・内部コミュニケーション
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3.環境ネットやまがたの紹介

環境ネットやまがた

沿革

- 1998年 やまがた環境カウンセラー協議会設立
- 2004年3月 NPO法人化・名称変更
- 2004年4月 山形県地球温暖化防止活動推進センター指定
- 2005年4月 エコアクション21 地域事務局認定
- 2005年7月 山形県環境保全協議会事務局受託
- 2007年6月 山形県環境学習支援団体認定
- 2007年7月 事務所移転（村山市→山形市城西町）
- 2010年8月 事務所移転（城西町→山形エコハウス）
- 2011年2月 エコアクション21 認証登録



2025年5月環境ネットやまがた通常総会。

※エコアクション21 地域事務局の認定を受けている NPO 法人では全国で初めての認証

- 2014年4月 山形県環境科学研究センター情報棟の委託管理業務
- 2018年4月 山形県産業科学館の指定管理業務
- 2020年4月 エコアクション21 中核地域事務局認定
- 2020年10月 山形エコハウス（現事務所）の敷地・建物を東北芸術工科大学より購入

4.対象範囲

環境ネットやまがた

認証・登録範囲（全組織・全活動）

1) 取組の対象組織

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

山形県産業科学館…指定管理者

山形県環境科学研究センター情報棟…委託業務

※指定管理者及び委託業務についても取組を実施しています。

2) 取組みの対象活動

地球温暖化防止活動（山形県地球温暖化防止活動推進センター）

エコアクション21 地域事務局活動

山形県環境保全協議会事務局活動

やまがた環境カウンセラー協議会活動

指定管理施設及び委託業務施設の運営



COPY COPY COPY

5.環境経営目標とその実績

環境ネットやまがた

5-1. 環境経営目標の策定 (本部)

本法人は、2010年11月から、エコアクション21に取り組みを開始し、少しずつ二酸化炭素排出量を削減する取組を実施してきましたが、2015年度のパリ協定後に公表されたIPCCの1.5℃特別報告書を受けて策定された新しい日本における二酸化炭素削減量は、2030年度に2013年度比で46%削減となっております。また、それを達成するためのエネルギー基本計画における事業所部門では削減率50%されております。

したがって、当法人の二酸化炭素排出量の長期目標(2030年度)についても2013年度比で50%削減を掲げることとし、長期目標を達成するよう目標を策定しました。2024年度の実績では中期目標では2013年度比約27%削減目標を達成することができております。

また、2025年度にガソリン車を廃止するなどの大きな変更があるため、ガソリンの排出をゼロに電力については、電気自動車の使用量増加分を+30%で試算したところ計画していた長期目標の2027年度目標の達成が見込めることから、2025年度から2027年度の3年間は維持としました。その後は計画に沿って進めていきます。

なお、一般廃棄物、コピー数量、水使用量については、従来の目標を継続いたします。また、今までと同様、二酸化炭素排出量を計算する電力は買電量として、別に活動の効果を示す使用量(ソーラーによる発電量-売却電力+購入電力)も合わせて目標としていきます。また、電力の二酸化炭素排出係数も基準とした2024年度実績からは2022年度の調整後係数を用いることとしています。

なお、2025年度の環境経営目標の自らの提供するサービスに関する項目は、本法人の活動自体がエコアクション21の活動であるという認識に立ち、出来る限り事業毎に目標を立てました。また、SDGsとの関連性も意識しながら活動してまいります。

※山形県産業科学館でも取組を実施しておりますので、別紙にてレポートを作成しております。

5-2. 環境経営目標(中長期)の設定



	中長期目標(2025年度から毎年163kgCO ₂ 削減)※				
	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	2,173	2,173	2,173	2,073	1,910
	中長期目標(2025年度から2025年度まで2013年度比20%削減)				
	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
廃棄物排出量 (kg)	2013年度比 20%削減	2013年度比 22%削減	2013年度比 24%削減	2013年度比 26%削減	2013年度比 28%削減
水使用量 (m ³)	2013年度比 20%削減	2013年度比 22%削減	2013年度比 24%削減	2013年度比 26%削減	2013年度比 28%削減

5-3. 2024年度環境経営目標（環境への負荷と本来業務）の実績と評価

	2020年度実績 (基準値)	2024年4月～2025年3月			
		目標値	実績	差異(削減率)	評価
■二酸化炭素排出量	3,377kg-CO2/年	2,725kg-CO2/年	2,528kg-CO2/年	197kg-CO2/年 削減	○
	2013年度実績 (基準値)	2024年4月～2025年3月			
		目標値	実績	差異(削減率)	評価
・電気使用量	5,264kWh/年	4,316 kWh/年	4,865kWh/年	549kwh/年 増加	×
・都市ガス	25.93m3/年	21.76m3/年	20.78m3/年	0.98m3/年 削減	○
・ガソリン燃費 (使用量)	—	16.7km/L	18.26km/L (365L)	1.56km/L 向上	○
■総排水量 (水使用量)	75.64m3/年	62.02m3/年	56.63m3/年	5.39m3/年 削減	◎
■一般廃棄物排出量	1,008.5kg/年	827kg/年	742.8kg/年	84.2kg/年 削減	◎
・コピー数量の削減	251,236 枚/年	206,013 枚/年	201,039 枚/年	4,974 枚/年 削減	○

※ 達成率◎…+10%以上 ○…+10%未満-0%以上 △…0%未満~-10%以上 ×…-10%未満

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力 2022 年度調整後排出係数（0.472kg-CO2/kWh）を使用。

※ 二酸化炭素排出量を算出した電力は買電量とし、個別目標は使用量（発電量+買電量-売電量）としました。

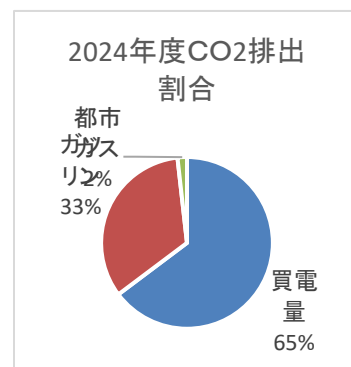
■ 二酸化炭素排出量

1) 全体

二酸化炭素排出量は、目標に対し 7.2%増加削減できました。昨年度よりガソリン車を使用する業務件数が減少したこと、極力電気自動車を使用したことなどが主な理由です。また、夏の猛暑によるエアコン稼働率の増加や冬にペレットストーブが故障しエアコン暖房に頼らざるを得なかったことによる電気使用量の増加もありましたが、なんとか目標を達成することができました。

グラフに示すように、ガソリン使用量が昨年度より 18%減少しております。

※「電気」からの二酸化炭素排出量については、「購入電力」から算出しております。



⇐ 太陽光発電 5kW（上）と、下は太陽熱温水器です。効率よく発電するように、山形エコハウスは真南に向いております。

2024年度の売却電力は 1,163kWh、購入電力は 3,467kWh です。蓄電設備があれば、収支で **2,304kWh** は購入する計算になります。

2) 電気使用量

目標に対し 13%増という結果になりました。しかし、昨年度よりも 8.6%の削減です。

原因は、ガソリン車の使用を減らした分電気自動車の充電量が増加したこと、夏の猛暑によるエアコン稼働率の増加、2月から故障したペレットボイラーによりエアコンで暖房などです。

※電気使用量は 発電量-売電量+買電量 で算出しております。



コピー機を一昨年度更新しました。



電気自動車サクラを導入しました

3) 都市ガス使用量

目標に対しわずか 2.6%ですが削減しました。

都市ガスは湯沸し使用がほとんどで、二酸化炭素排出量の割合も全体の 2%になっています。

そろそろ削減の限界にきていると感じており、維持という目標も視野に入りたいと考えております。



↑電気ポットではなくエアポットを使用

4) ガソリン使用量

目標に対して燃費が 6%向上 (17.67km/L) という結果でした。

また、前年度では二酸化炭素排出量におけるガソリンの割合が 51%と大きなウエイトを占めていましたが、33%まで減少しました。

電気自動車を極力使用しガソリンの削減に努めた効果が出てきたようです。

ガソリン量使用量も昨年度比で 467L 削減しております。

主に委託事業の現地確認に使用していますが、2023 年度に比べると走行距離も少なくなってきました。



所有車 → 日産 ノート

5) ペレット使用量

暖房と給湯用にペレットボイラーで木質ペレットを使用しています。

木質バイオマスは燃焼させても発生した二酸化炭素は、木が成長する過程で吸収したものであるというカーボンニュートラルという考え方に基づき、かつ地元の木材で地元の工場で製造されたペレットであるため輸送の際の二酸化炭素もカウントしないことになり、当法人でのペレット使用による二酸化炭素排出量はありませんがペレットの使用量の把握は継続しています。2月にボイラーが故障しましたが、2024年度のペレット使用量は **770kg** と昨年度より、**110kg** 増加しました。



↑オーストリア製のペレットボイラー (右) と、ペレット燃料を入れるサイロ (真ん中) と蓄熱槽 (左)。家庭用ペレットボイラーとしては全

■ 総排水量・水使用量

水使用量は、目標に対し、11%削減しました。今後も節水につとめます。また雨水を貯水し、散水・植物の水やりにご利用しています。



緑のカーテン実施中。
ゴーヤの水やりにも雨水を利用。

←雨水を貯水しております

■ 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物

目標に対して10%削減しました。総量、742 kgの内、可燃ごみが19.2 kg、他は地区の廃品回収などリサイクルに回しています。また、機密文書類は業者に依頼して処分しています。紙の分別については、分かりやすく表示し、片面コピーについては、内部資料をコピーする際などに再利用しております。

前年度の量と比べて233kg増加しており、前年度分が2024年度に回ってきたと考えられます。定期的に廃棄するとともに、これからも廃棄物の削減とリサイクルに取り組んでまいります。

2) 産業廃棄物

産業廃棄物の排出は不定期ですが、2024年度の産業廃棄物は、廃プラのみでした。少量ですが、マニフェスト管理や産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告も毎年実施しております。



↑紙の分別に取組み、裏紙の利用や封筒を再利用



↑インク、テブラーなどはリサイクル

■コピー数量の削減

目標に対して2%削減できました。

環境ネットやまがたでは、山形県温暖化防止活動推進センターやエコアクション21地域事務局のほか山形県環境保全協議会の事務局も務めており、その資料などを作成するコピー数は、かなりの量になります。使用量を削減することも重要なことと捉え、無駄なコピーを削減するよう努めています。また、PDF化による資料の保存にも取り組んでおります。



↑縮小コピーによる削減例



↑PDFでハードディスク管理

5-4. 2024年度、自らが提供するサービスに関する目標の実施と評価

新型コロナウイルスの影響もだんだんと回復し、ほとんど以前の状態に戻ってきております。2024年度は、以下のように環境経営目標及び環境活動計画を策定し、その取組状況の評価を行いました。

① 山形県地球温暖化防止活動推進センター事業

※評価： ○…達成できた △…努力したができなかった ×…できなかった

活動・取組み項目 (事業)	活動の具体的内容	評価
■地球温暖化防止対策コーディネーター設置等事業	■県民からの相談・照会などに対応する。	○
	■推進員候補者研修を3回実施する。	○
■地域における地球温暖化防止活動促進事業	■連絡調整会議を年2回開催する。	○
	■推進員フォローアップ1回、環境マイスターフォローアップ研修を2回開催する。	○
	■「家庭の省エネ家電アクション」の実施(30件)	○
	■東北デコ活連携事業(合同研修1回)	○
	■「家庭のデコ活アクション」の実施 2,000件	○
	■山形エコハウス来場者数 600人/年	△
■脱炭素経営セミナーの開催(2回)	○	

	■県民向け省エネ住宅リフォームセミナー及び相談会の開催(1回開催)	○
	■エコカップやまがたを開催し、取組事例 50 件収集。	○
	■エコカップやまがた活動事例発表会の当日参加者 70 名。	×
■脱炭素社会実現に向けた行動変容推進事業	■「デコ活」普及講座(こども向け)の開催(1回)	○
	■イベント等での普及啓発活動(1回)	○
	■デジタルコンテンツの作成(5種類)	○
	■CO ₂ 排出量削減キャンペーンの実施	○
	■事業者向け脱炭素セミナーの開催(1回)	○
	■こども向け講座(ワークショップ)の開催(1回)	○
	■省エネ健康促進住宅普及事業(事業者向けセミナー1回)	○
	■省エネ高効率設備導入に関するセミナーの開催(2回)	○
■家庭や事業所における脱炭素の対策推進事業	■V2H利活用推進セミナーの開催(2回)	○
	■親子を対象とした環境教室の開催(3回)	○
	■森林整備活動への支援及び工作教室の実施(2回)	○
■学生環境ボランティア育成・活用事業	■学生環境ボランティアの募集	○
	■研修会の開催(1回)	○
	■活動の実施(10回程度)	○
	■県内外視察の実施(2回)	○
	■活動報告会の開催(1回)	○
■省エネ住宅普及啓発セミナー開催業務委託	■市民向けセミナーの開催(2回)	○
	■市民向け見学会の開催(2回)	○
	■省エネ住宅 技術研修会の開催(2回)	○
	■省エネ住宅 実地研修会の開催(2回)	○



推進員研修



エコカップ山形



省エネ住宅研修会

② エコアクション2 1等普及啓発・認証・登録事業

活動・取組み項目 (事業)		活動の具体的内容	評価
■エコアクション21等普及啓発・認証・登録事業		■登録審査 40件 実績 13件	×
		■力量向上研修会を1回開催する。	○
		■フォローアップセミナーを2回開催する。	○
		■WEBによる情報等の発信。	○
		■普及啓発活動を実施する。	○
その他事業	■情報発信	ENY ニュース 2回/年発行	○
		Web版 ENY ニュース 1回/月発行	○
	■グリーン購入の推進	■事務消耗品は可能な限りグリーン購入につとめる。	○
		■その他の購入品も可能な限りグリーン購入を意識する。	○
	■地域環境保全への協力	■エコハウス周辺の清掃(ゴミ拾い、落ち葉掃き、雪はき等)	○
		■地域の環境に関わるボランティア活動に年5回以上参加	○

※普及活動などを青森、岩手、秋田、宮城、福島で実施したが、登録審査件数には至らなかった。



エコアクション2 110年継続事業所様への
感謝状贈呈式



フォローアップセミナー (山形市)



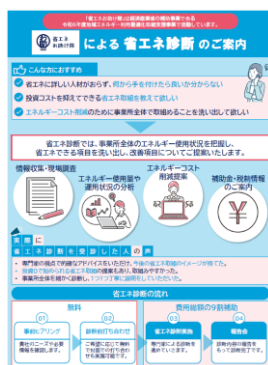
フォローアップセミナー (青森市)

③ その他

活動・取組み項目 (事業)		活動の具体的内容	評価
■省エネルギー地域プラットフォーム構築事業		■省エネ相談支援事業(20社)	×
		■省エネルギーセミナー(山形1回、庄内1回)	○
		■補助事業の普及啓発(パンフレット等配布)	○
		■省エネプラットフォーム連絡協議会(2回)	×

■再生可能エネルギー設備導入事業費補助金業務	■補助事業の普及啓発(パンフレット等配布)	○
	■補助金申請の受付、一次審査、現地調査、県への進達、通知書送付	○
	■導入検討から施工に至る各段階における相談対応	○
■環境エネルギー学習機能拡充推進業務	■山形県環境アドバイザー派遣の利用者数 426 人/年⇒427 人/年	○
	■山形県地球温暖化防止活動推進員派遣の利用者数 1,184 人/年	○
	■環境教室(派遣)の利用者数 4,058 人/年⇒4,059 人/年	○
	■環境教室(所内)の利用者数 339 人/年⇒340 人/年	○
	■来館者数(所内環境教室を除く) 527 人/年⇒528 人/年	○

※連絡協議会の 2 回目は出席者が半数に満たなかったため、規約により中止とし書類を送付した。



省エネ診断チラシ



山形未来くる補助金チラシ



中小企業の省エネ推進セミナー

6. 環境経営計画と次年度の環境経営目標と取組み

環境ネットやまがた

■二酸化炭素排出量の削減

- 消費電力の削減
 - 室温は、暖房期 20℃、冷房期 28℃で管理する
 - 使用していないエリアの照明は消す
 - OA 機器・家電製品の待機電力を削減する
 - 扇風機の使用
 - グリーンカーテンを実施する
 - 二酸化炭素排出量換算係数を適時見直す
- エコ運転の実施
 - アイドリング停止の徹底
 - 「燃費記録表」で燃費の確認
 - なるべく E V 車を使用する

■廃棄物排出量の削減

- 廃棄物分別の徹底
 - 分別の徹底
 - 廃棄物置場の整理
 - 案内は極力メールで行う
- コピー数量の削減
 - 配布物の数量管理の徹底
 - コピー用紙の裏表利用・縮小コピーなど
- 再利用の促進
 - プリンターインク、テプラテープはリサイクルに出す
- グリーン購入の推進
 - 事務消耗品は可能な限りグリーン購入につとめる
 - その他の購入品も可能な限りグリーン購入を意識する

■ 総排水量（水使用量）の削減

- 雨水を貯水し、散水・洗車・植物の水やりに利用する
- 手洗い時の節水（掲示）

■ 次年度以降の環境経営目標について

2021 年度よりパリ協定の取組期間が始まり、日本も温室効果ガスを 2030 年度に 2013 年度比で 46%削減と 2050 年度カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。これに伴い、国が計画している事業者部門の削減率 50%を目指しておりますが、2024 年度は目標を達成することができました。また、2025 年度はガソリン車の廃止など大きな変更が計画されているため、中長期目標の見直しの結果、当法人の 2030 年度に 2013 年度比で 50%削減計画の 2027 年度までを 2025 年度で達成できるは見込みのため、それまでは目標を維持することとします。なお、環境経営活動はこれからも推進していきます。

なお、当法人の本来の業務がエコアクション 21 に密接な関係があるものですので、引き続き達成できるよう努力していきます。

環境経営目標項目	単年度目標	中期目標(2027年度まで) 取組み期間 3年
	2025年度目標	
二酸化炭素排出量	2020年度比 815kgCO2削減	中期目標: 2,173kg-CO2(維持)
個別の化石燃料使用量	2024年度基準	買電量及び電気使用量は2024年度を基準とし30%増を維持 都市ガスは2024年度目標を維持とする。
廃棄物排出量	2013年度比 20%削減	中期目標(2027年度まで-2%/年)
コピー数量	2013年度比 20%削減	
総排水量	2013年度比 20%削減	

7. 環境関連規制への違反、訴訟等の有無

環境ネットやまがた

本法人が遵守すべき主な環境関連法規等は以下のとおりです。

環境関連法規等の名称	遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物を排出する場合：委託基準、委託契約書、マニフェスト交付・返送確認・交付状況報告。	○
家電リサイクル法	特定家電を廃棄する場合：リサイクル料金の支払い。家電マニフェストの写しの交付を受ける。	○
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合：リサイクル費用の負担。登録業者に引き渡す。引取証明書を受け取る。	○
消防法	ペレットの保管：1トン以下。	○

・関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去5年はもとより、法人設立以来一度もありません。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

環境ネットやまがた

代表者による全体評価と見直しの結果

EA21 を意識するしないに関わらず、環境への取組みを積極的に進めて行こうとする姿勢は高く評価したいと思います。次の事項に留意しながら、次年度の取組を進めて下さい。

- PDCA の内、CHECK の部分が抜けてしまって、PDA になってしまっているような気がします。上期が終わったあたりで、一度年度途中段階での取組状況の確認評価を行うようにしましょう。
- 次年度の環境経営目標については、特に中長期目標に関して、カーボンニュートラル達成に向けたビジョンを掲げ、夢のある目標を掲げましょう。（たとえ達成が難しいとしても…）
- 環境経営計画では、再生可能エネルギー100%電力への切り替えを検討してみてください。
- 従業員のスキル向上、モチベーションアップに資するような研修を検討して下さい。
- 環境経営システム全体として、小規模事業所のモデルケースとなるようなコンパクトなシステムの確立を目指して下さい。
- レポート上に総会で職員が発表したような取り組みをなるべく多く掲載し、アピールするようにして下さい。限られた人員でシステムを維持していくことはとても難しいことです。業務に追われる中で、必要書類をまとめてくれた事務局の長岡さんに感謝です。

実施日：2025年6月26日

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた
代表 河合 直樹

9.その他の活動写真

環境ネットやまがた



2024 山形県環境保全協議会総会



2024 山形県環境保全賞表彰



2024 カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

10. 活動報告会

環境ネットやまがた

当法人では、年次総会の後に担当者が活動報告を実施しております。これは、会員への報告と担当者同士が行っている情報を共有し、お互いに力量を高めるのに役立っております。



特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37 TEL:023-679-3340

E-mail : eny@chive.ocn.ne.jp URL : <http://eny.jp>